

従業員に関する事項

1. 基本

- (1) 会社は規模の拡大よりも社員と家族を大切にし、それを守ることを最優先する。
- (2) 会社は従業員を大切にするため、働き方の多様性を認めます。
- (3) 従業員が頑張れば会社がどれだけ評価をして将来はどういう階段があるのかを示す。評価の仕方を妥当なものにする。
- (4) 給料、賞与に関して(1)透明性があるしくみ(2)納得性がある運用をする。(日本レーザー 近藤宣之)
- (5) このレベルの仕事しかしたくないので給料はこれでいいです、というのも有りです。多様性は認めます。働き方の多様性はどんどん提案してください。働きやすい事務所にしてください。
- (6) 経営者の私と何でも相談会(社長面談)を月に一回実施します。その時に何でも話してください。
- (7) 上司は部下の生い立ちからの話をしっかり聞くこと。
- (8) 仕事に関係ある資格取得(弊社の場合は税理士)は応援します。周りは邪魔やバカにする様な幼稚な態度はとらない事。但し、試験勉強優先ではなくて仕事優先して下さいね。
- (9) 給与、賞与の評価は部下の意見も参考にする。
- (10) 社員はこなす仕事ではなく、取り組む仕事をする。作業だけなら賞与は支払わない。作業だけで勉強しない、取り組む仕事をしないならパートに降格する。
- (11) 仕事ではレベルの高さを求めるため否定、指摘等はたくさんします。仕事を否定しても人格の否定は絶対にしません。仕事のレベルの高さを求めるため仕事の否定、指摘等をするのです。人格を否定するのではないのです。
- (12) お客様は、企業や商品よりも接触した社員の良し悪し、満足度で商品を購入している。
- (13) 愛とは関心を持つこと。他人の為に勉強することは愛情。会社やお客さんを喜ばせる為に自分の時間を使って勉強する人は愛情のある人。これが仕事の実力。(斎藤一人)
- (14) 入社間もない方でも提案はどんどんして下さい。仕事の提案は最高です。それを却下する上司は去って下さい。自分が楽になる提案は避けて下さい。全員が主役になる様にして下さい。
- (15) 仕事の勉強をしないと依頼できるのは作業だけになります。給料も下がります。どんな仕事でも同じです。作業はAI等に奪われます。
- (16) 失敗、ミス、確認をしない、確認を忘れるは違う。失敗は大歓迎。失敗はチャレンジが必要。何回も同じミスはダメ。成長していない。でも誰でもたまにミスはある。確認しない、確認を忘れるは当たり前ですが、防げます。